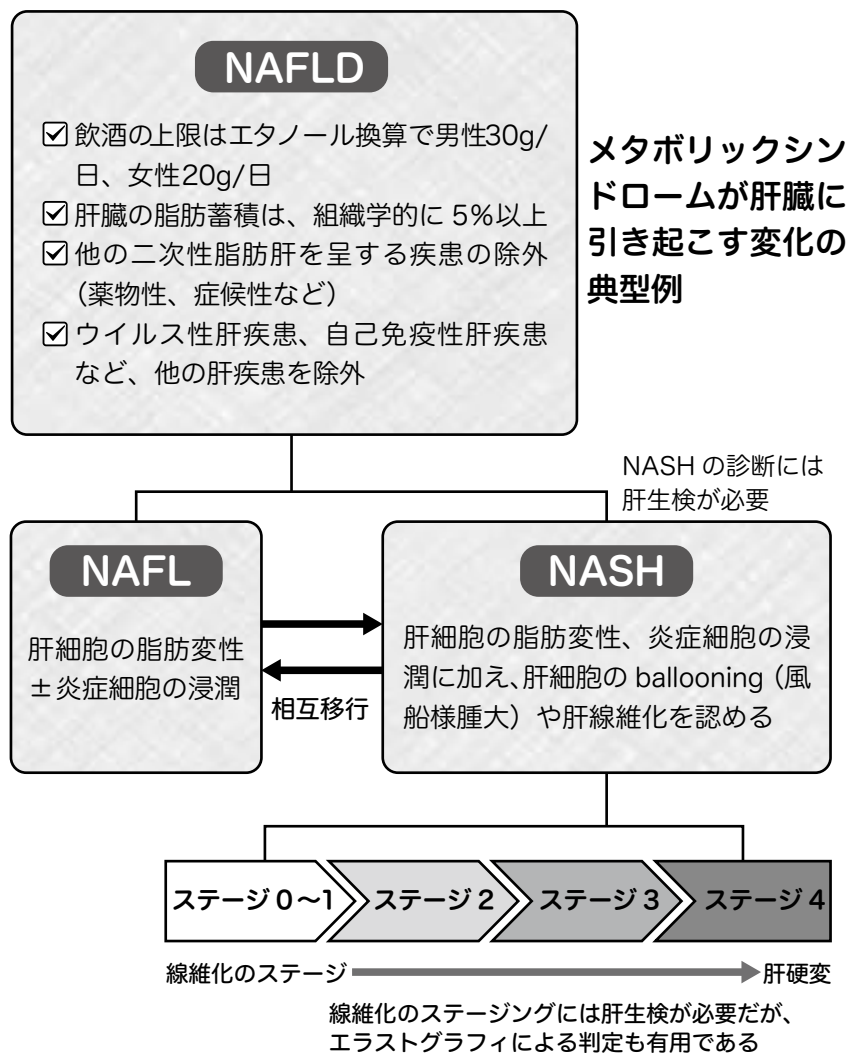


NAFLDとその分類



メタボリックシンドロームが肝臓に引き起こす変化の典型例

日本肝臓学会編『NASH・NAFLDの診療ガイド2021』（文光堂）を改変

脂肪肝を侮ってはいけない!

● 進行性の「NASH」の急増が大きな課題です

現在、健康診断や人間ドックなどで「脂肪肝」と指摘される人の多くは、NAFLDに該当します。NAFLDは、病態がほとんど進行しない「非アルコール性脂肪肝（NAFL）」と、進行性で肝硬変や肝臓がんの発症につながりやすい「非アルコール性脂肪肝炎（NASH）」に大別されます。

このうち、進行性のNASHの急増が大きな問題となっていて、NAFLDの10～20%をNASHが占めています。NASHと診断された人は、3～14年の間に30～50%で肝臓の線維化が進展するとされています。そして、5～10年の間に、NASHの10～20%が肝硬変に進行すると言われています。さらに一定の割合で肝臓がんを発症するため、注意が必要です。

ただし、NASHと診断されても、早い段階で生活習慣を改善したり、適切な治療を受けたりすることで、ほとんど進行しないNAFLに改善することは可能です。

逆に、NAFLと診断された人が油断していると、NAFLからNASHに移行する場合もあるので、注意が必要です。

PART 1